

関係事業者からの意見聴取の概要

今後取り組むべき観光振興施策についての方向性、取組のイメージ等を把握するために観光関係の事業者や団体から、必要な施策や事業及び取組についてのヒアリングを計3回実施した。

1 対象者

20事業者・団体

【内訳】① 観光・経済関係	5者
② 県内市町村	4者
③ 宿泊関係	7者
④ 交通関係	4者

2 内容・項目

- ・今後取り組むべき観光施策や必要な分野について
- ・観光振興に関して行政に実施してほしい取組について

3 意見の概要

ヒアリングにより出された様々な意見について、今後の観光振興施策を検討するにあたり、4つの区分により集約を行った。

(1) 観光資源に関する意見	29件
(2) 受入環境に関する意見	40件
(3) 情報発信に関する意見	38件
(4) 体制強化に関する意見	48件
合計	155件

【事業者別内訳】

	(1)観光資源	(2)受入環境	(3)情報発信	(4)体制強化	合計
①観光・経済関係	11件	7件	15件	21件	54件
②県内市町村	4件	7件	8件	8件	27件
③宿泊関係	6件	8件	3件	14件	31件
④交通関係	8件	18件	12件	5件	43件
合計	29件	40件	38件	48件	155件

4 主な意見

(1) 観光資源

- ・世界で通用するコンテンツの開発・磨き上げが必要
- ・県内の歴史ある温泉街など観光地の景観整備事業に対して補助する仕組みを検討してはどうか
- ・「政宗が育んだ“伊達”な文化」など貴重な文化等の観光コンテンツを磨き上げて付加価値をつけ、訴求力を高めるような取組が必要
- ・仙台、宮城の強みであるプロスポーツチームを最大限活用することが必要
- ・インバウンド向けの観光素材の磨き上げとして、ナイトメニューの充実が必要
- ・滞在型のプログラムには、様々な体験を取り入れた商品開発が必要
- ・沿岸部のにぎわい創出は大きな課題、沿岸部のコンテンツの活用や被災地に訪れる仕組み作りが必要
- ・教育旅行は国内、特に関西圏に相当需要があり、防災学習に興味を持っている学校も多い

(2) 受入環境

- ・観光型 MaaS の推進、二次・三次交通の利便性向上が必要
- ・インバウンドを増やしていくためには航空路線の拡大が必要、路線を誘致し定着するまでのリスクに対して行政の支援が必要
- ・インバウンド拡大や航空路線の維持等のためアウトバウンドの強化が重要
- ・Wi-Fi 環境について半島や離島などの店舗のない自然エリアにも今後整備を進めてほしい
- ・インバウンド対応事業としてキャッシュレス事業に将来的に取り組むたい
- ・ハラル対応などの多様性への対応に積極的に取り組むべき
- ・災害時の観光地の受入態勢整備は進んでいないことから対策が必要

(3) 情報発信

- ・プロモーションは東北全体で打ち出して強力に取り組むのが効果的
- ・デジタルプロモーションなどの先を見据えた戦略が必要
- ・既にインバウンドが多く訪れている国内観光地と連携して、東北を PR することが必要
- ・海外では宮城県の認知度が非常に低く、プロモーションが不足している
- ・宮城の優れた食材や観光素材の良さが首都圏等で伝わっているか疑問があり、観光以外の分野とも連携しアピールしていく取組が必要
- ・観光素材の発掘や磨き上げが不足しており、さらにプロモーションするサイクルが大事

(4) 体制強化

- ・宿泊の底辺を広げていく際に民泊は重要
- ・DMO が地域の観光素材の磨き上げ、観光客の動向やニーズを把握する必要がある
- ・観光地として存続していけるよう、宿泊施設の設備投資等への補助なども必要
- ・多様化するニーズや人材不足に対応するため、ホテル・旅館のサービス形態の改善が必要
- ・AI やロボット等を活用した生産性向上や外国人労働者の活用など積極的に取り組んでほしい
- ・質の高い観光ガイド・コーディネーター等の人材育成は重要
- ・外国人目線でニーズが高い観光資源を世界に発信する取組が必要
- ・感覚や経験ではなくマーケティングデータに基づいた観光戦略を展開すべきであり、予算をかけて取り組む必要がある
- ・観光産業は持続可能な開発目標の達成に大きな貢献が期待されるため、持続的な地域づくりが必要